

行動する東京都教育委員会

東京都民の皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

東京都教育委員会は、年一度、地方行政の組織及び運営に関する法律に基づき、知事との懇談を行っています。委員会では一年間様々な議論を行いますが、その結果、特に重要と判断した事項については、この機会を利用して知事にお話しすることにしております。平成21年度は、全国的にも大きな問題となっている、いわゆる小1問題・中1ギャップに対応すべく、大規模な都独自の対応策についてお話ししました。

小1問題・中1ギャップは、児童・生徒の学力向上を図る上でも緊急な対応が求められる課題です。前者は、小学校入学後に、学級という集団生活にじめなれなかったり、学校生活のルールが理解できなかつたりすることなどから、児童が授業中に席を立って歩き回ったり、騒いだりし、授業規律が成立しない現象です。その原因として、児童に耐性や基本的な生活習慣が身についていないことなどが言われています。一方、後者は、小学生から中学生になった途端に、学習量の急激な増加などの環境の変化についていけない現象で、そのような生徒が不登校になったり暴力行為に走ったりするなど、状況が深刻化することが懸念されます。

教育委員会の動き ~平成22年7月から11月までの活動について~

①教育委員会の開催状況

平成22年7月から11月までに、9回の定例会と1回の臨時会を開催し、68件の議案と23件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものをお紹介します。

<議案>

- 東京都立学校設置条例の一部を改正する条例の立案依頼外1件について
- 平成23年度東京都立高等学校入学者選抜における推薦に基づく選抜の実施方針について
- 平成22年度東京都教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成21年度分)について
- 東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画について

<報告>

- 進学指導重点校の選定基準及び目標について
- 「総合的な子供の基礎体力向上方策(第1次推進計画)」について
- 平成23年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目について
- 平成22年度「東京都教育の日」事業について
- 平成22年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 小学校教員養成課程のカリキュラムについて
- アスリートによる「一日校長先生」及び「部活動指導」事業の実施について

話してみよう あなたの心配 ~東京都教育相談センターのご案内~

子育ての悩みや不安、いじめ、不登校など
電話 03(5800)8008
メール <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>
*ホームページからご利用ください。

平日：午前9時から午後9時まで
土日祝日：午前9時から午後5時まで
その他の時間は、留守番電話で対応します。

高校進級・進路・入学相談

電話(専用ダイヤル) 03(5800)4175
平日：午前9時から午後9時まで
土日祝日：午前9時から午後5時まで
その他の時間は、留守番電話で対応します。

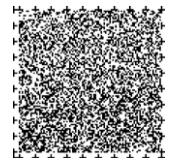
いじめ相談ホットライン
電話 03(5800)8288
(24時間受付)

東京都教育相談センター

〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目3番3号
東京都教職員研修センター内

とうきょうの教育 第93号
平成23年1月1日発行

○編集・発行 東京都教育庁総務部教育情報課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)6733
ファクシミリ 03(5388)1726
○デザイン・印刷 株式会社ドゥ・アーバン



東京都教育委員会委員長 木村 孟



このような問題を未然に防ぐ一つの有効な手立てとして考えられているのが、学級規模を縮小することや、一クラスを複数の先生方で見ていただくことです。東京都教育委員会はこの方法等を実施すべく、都議会各会派等の様々な方からの提案を検討し、教員の加配を計画いたしました。石原知事からも早急に改善を進めるようお話をいただき、平成22年度は100名を超える教員増が実現いたしました。事務局において、極めて綿密な調査を行い、精緻なデータを出していただいたことも、大いに効果があったと思います。文部科学省の新たな教員増計画に先んじて東京都が大規模な教員増を実現したことは、大いに意義のあることであると思います。

東京都教育委員会は、今後とも、事務局と一体となって様々な取組を実施していきたいと考えておりますし、また十分できると確信しております。今後とも、都民の皆様の特段の御支援と御理解を賜りますようお願い申し上げます。

とうきょうの教育

第93号
小学校版
平成23年1月

東京都教育委員会 ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

東京都教育委員会(教育庁)では、都民のみなさまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

東京の子どもたち、文章を書く問題が少し苦手です。

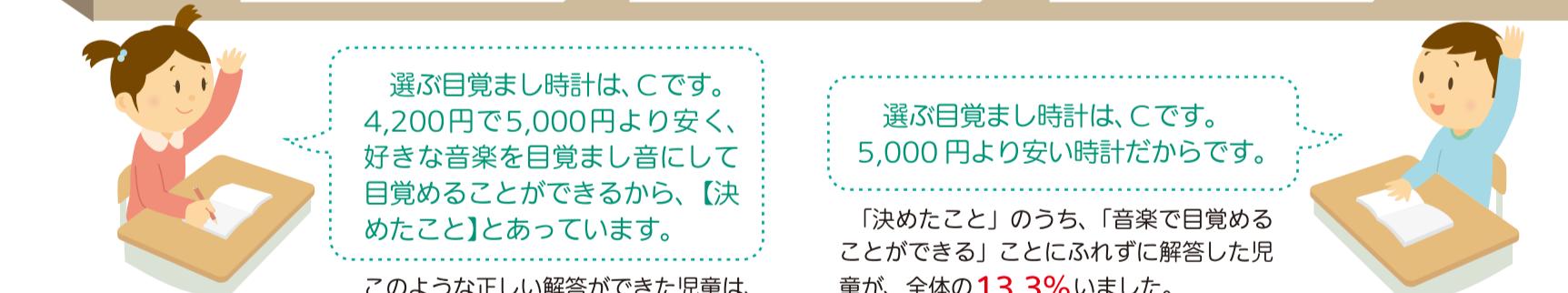
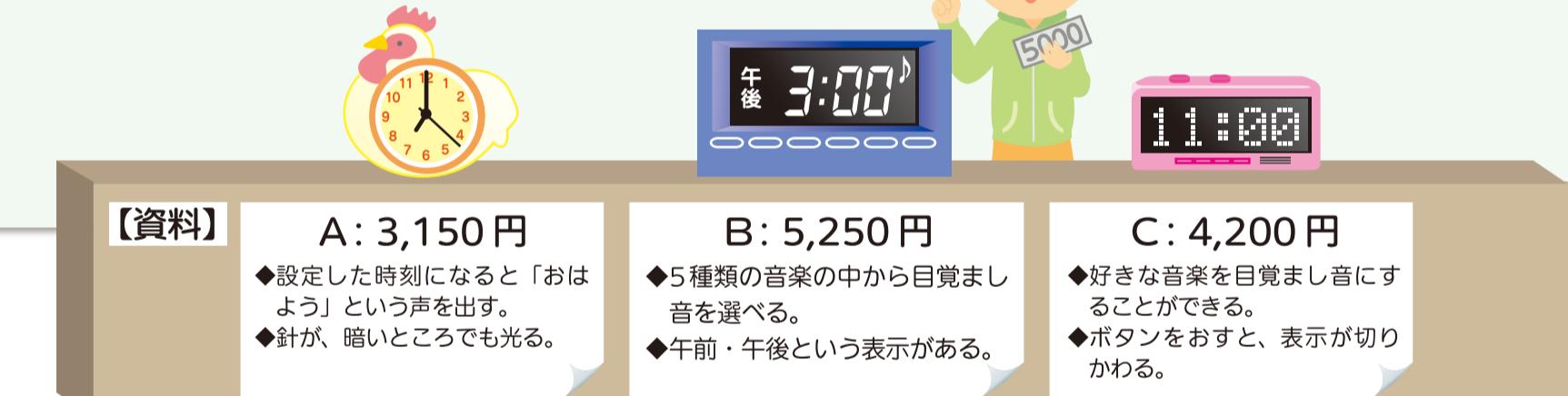
平成22年4月20日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果から、東京の子どもたちの学力に関する課題が明らかになりました。

「平成22年度全国学力・学習状況調査」(平成22年4月20日実施)
国語B(活用問題)

Q 中島さんは、どの目覚まし時計を選べばよいでしょうか?

【資料】A・B・Cの中から一つ選んで、その目覚まし時計を選ぶ理由を、【資料】の情報と【決めたこと】の内容のどちらにもふれながら、書き出しの文(「選ぶ目覚まし時計は…です。理由は…」)に続けて、60字以上、80字以内にまとめて書きましょう。

【決めたこと】
△5,000円より安いもの。
△音楽で目覚めることができるもの。



「平成22年度全国学力・学習状況調査報告書」
(東京都教育委員会作成)から

複数の資料を比べて、資料の内容と決めた条件とを関連付けながら、理由を明確にして説明する問題です。この問題は、東京の小学校6年生の児童の、およそ3人に1人の児童が正しく回答できませんでした。

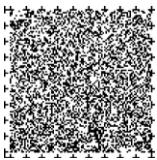
問題に示されている条件を踏まえて、複数の情報を比較・検討し、説明することができなかつたためと考えられます。



東京の子どもたちの学力向上のために、東京都教育委員会では、 子どもたちの読み解く力を伸ばす授業を行っていきます。

- 文章や図表、グラフ等を手がかりに、問題を解くのに必要な情報を正確に取り出す力を伸ばします。
- 取り出したいつかの情報を比べたり、関連付けたりして、問題の内容を読み取る力を伸ばします。
- 読み取った内容と、自分の知識や経験とを照らし合わせて、意図や背景、理由を考えて解決する力を伸ばします。

このパンフレットには、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。音声コードは、活字文書読上げ装置で読み上げることができます。



子供たちの「読み解く力」、 東京都教育委員会ではこのような授業で伸ばしていきます。

【決めしたこと】

◆5,000円より安いもの。
◆音楽で目覚めることができるもの。

【答えの書き方】

◆「資料の情報」と「決めしたこと」の両方にふれること。
◆60字以上、80字以内で書くこと。
◆書き出しが、「選ぶ目覚まし時計は…です。理由は…」



A: 3,150円

B: 5,250円

C: 4,200円

◆設定した時刻になると「おはよう」という声を出す。
◆針が、暗いところでも光る。

◆5種類の音楽の中から目覚まし音を選べる。
◆午前・午後という表示がある。

◆好きな音楽を目覚まし音に変更できる。
◆ボタンをおすと、表示が切りかわる。

	時計A	時計B	時計C
目覚まし音 (特徴1)	おはよう	5種類の音楽	好きな音楽
特徴2	時計の針が光る	「午前」「午後」の表示	日付表示が出る
価 格	3,150円	5,250円	4,200円

この問題を分かりやすく整理するには、どうしたらいいでしょう？
先生はこんな表にまとめてみました。この表を見ながら、みんなで考えていきましょう。



表にしてみると、それぞれの時計を比べやすくなるんだ！問題を読むだけより、このほうが分かりやすいね。

「決めしたこと」が二つありますね。「決めしたこと」と、実際の時計の情報を比べると、どのようになりますか？表の中の「決めしたこと」に合わないものに印を付けていきましょう。

音楽で目覚めることができるのは嬉しいのだから、Aの時計は違います。

時計Bも音楽が流れるけれど、5,000円より高いから、「決めしたこと」と違います。

これで、どの時計が、「決めしたこと」と合っているかが分かりましたね。それでは、答えを書くときには、どのようなことに気を付けるといいですか？

「答えの書き方」をしっかりと守って書くことです。

「読み解く力」はどうして大切なですか？また、子供の「読み解く力」を伸ばすために、日々から家庭でもできることはありますか？

文章や図表、グラフ等から必要な情報を見付けたり、いろいろな条件が示されている中から、必要な情報を選んで活用したりする能力は、国語科の学習だけでなく、どのような教科でも、またこれから様々な情報にふれていく中でも必要となる、大切な基礎です。

学校の授業だけではなく、家庭での毎日の学習習慣を大切にすることで、「読み解く力」を伸ばしていくことができます。分からぬことを家族と一緒に調べたり、新聞やテレビのニュースで気になったことを話し合って、自然に伸ばしていきましょう。

「読み解く力」は、単なる「読み取る力」とは異なります！

- 文章や図表、グラフ等から、解決に必要な情報を正確に取り出す力
- 取り出した複数の情報を比較・関連付けて読み取る力
- 読み取った内容と、自分の持っている知識・経験を照らし合わせて推論し、根拠を明確にして解決する力

学力の基礎となるこれらの能力を、「読み解く力」としています。

4月からは中学生！ 基本的な学習習慣を身に付けよう！

東京の子供たちの生活習慣や学習環境等の調査により、子供たちの基本的な学習習慣の確立と学力の向上との間には、密接な関係があることが分かっています。毎日の生活中で、基本的な学習習慣を身に付けましょう。

必要な情報を手に入れよう！



必要な情報を得るために本や新聞を読み、学習したことを利用しようとしている児童の方が、活用しようとしている児童よりも正答率が高いということが分かれています。

東京都では、新聞やテレビのニュースに关心を持っている児童の割合は、全国平均よりも高い71.6%となっています。いろいろなことに关心をもち、様々な方法で情報にふれる習慣を作りましょう。

分からぬことは調べよう！



疑問に思ったことを自分で調べようしたり、調べるに当たって調べ方やまとめ方などの計画を立てている児童の方が、これらを行わない児童よりも正答率が高いということが分かれています。

また、読書習慣がある児童や、自分を根気強いほどだと思っている児童は、そうでないと思っている児童よりも高い正答率となっています。

分からぬことをそのままにしないで、自分なりに考えたり調べたりすることを心がけましょう。

●情報収集のために本や新聞を読むことと平均正答率の関係

	国語 平均正答率	算数 平均正答率
している たいていしている	84.8%	75.4%
しないことが多い しない	79.7%	69.0%

「平成21年度児童・生徒の学力向上を図るために調査報告書」(東京都教育委員会作成)から

東京都特別支援教育推進計画 第三次実施計画を策定しました



東京都教育委員会は、平成16年11月に「東京都特別支援教育推進計画」を策定し、障害のある児童・生徒等一人一人の教育ニーズに応じた適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進に取り組んでいます。

この計画では、全体を3期に分けて実施することとしています。これまで第一次・第二次実施計画に基づいて、都における特別支援教育の充実を図ってきました。

平成22年11月に、新たに第三次実施計画を策定しましたので、計画の概要をご紹介します。

「特別支援教育」とはどういうものですか？

「特別支援教育」とは、障害のある子供たちの自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点から、子供たち一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

今までどんなことをしてきたのですか？

第一次実施計画（平成16年度～19年度）・第二次実施計画（平成20年度～22年度）により、障害のある子供一人一人の可能性を最大限に伸ばす、より専門性の高い教育の実施と、将来の自立と社会参加を目指した支援の充実を図ってきました。

第三次実施計画の基本的な考え方

すべての学校で実施する 特別支援教育の推進

小・中・高等学校、特別支援学校など、すべての学校において、子供たちがその障害の種類や程度に応じて、専門的な教育を受けられる環境を整備・充実します。

つながりを大切にした 特別支援教育の推進

子供一人一人が、必要に応じて適切な指導と支援を受けられるよう、子供たちにかかわる人々・学校・関係機関のつながりをいっそう強化していきます。

自立と社会参加をめざす特別支援教育の推進

職業教育や進路指導・就労支援の充実に向けた教育環境を整備し、将来の自立と社会参加を目指した取組を進めていきます。

Pick up! 区市町村における 特別支援教育体制の充実



- 小学校・中学校に在籍する、知的の遅れのない発達障害の子供たちへ、適切な指導と支援が実現できる体制整備を進めます。
- すべての小・中学校に「特別支援教室」を設置
- 個別指導等の実施
- 通級指導学級教員による巡回指導

東京都教育委員会は、障害のある子供一人一人の可能性を最大限に伸ばし、社会的自立を図ることができる力や地域の一員として生きていける力を育てます。

子供の体力向上東京大作戦 3月21日、第2回中学生「東京駅伝」大会開催! ～今年も区市町村代表の中学生2年生が襷をつなぎます～

東京都教育委員会は、平成23年3月21日に、都内の中学2年生がリレー形式で走る、第2回中学生「東京駅伝」大会を開催します。この大会は、都内中学生の健康増進や体力向上、競技力の向上を目的として、平成22年3月に実施した第1回大会に引き続き開催するものです。

第2回大会は、味の素スタジアム及び都立武蔵野の森公園特設周回コースが舞台です。

男子の部はフルマラソンと同じ42.195kmを17人で、女子の部は30kmを16人で襷をつなぎ、区市町村対抗で競います。

女子は午前11時に一斉スタート！最初のランナーが晴天の晴海会場を走りだしました。

平成22年3月21日 第1回大会レポート

早朝まで天候が荒れ、1時間遅れの開始となりましたが、スタートのときには青空となりました。



チームの仲間たちの思いがこもれた襷を、次の走者へ託します。



会場では、各地域から駆けつけた大勢の応援団が、力走する選手たちに大きな声援を送りました。

選手・役員・観客あわせて約15,000人が集まり、第1回大会は大成功に終わりました！

第1回大会結果

男女総合	男子の部(42.195km)	女子の部(30km)
優勝	町田市	町田市
準優勝	足立区	足立区
第3位	八王子市	八王子市

第1回大会は、町田市選抜チームが総合優勝し、総合優勝旗を手にしました。



女子の部は午前10時にスタート、男子の部は午後1時にスタートし、チーム全員でゴールを目指します。

大会当日はぜひ会場に足を運んで、みなさんのまちの代表選手を応援してください！

